

当院を受診される皆さまへ

帝京大学ちば総合医療センター 病院長

卒後臨床研修医用のオンライン臨床教育評価システム（EPOC2）と

卒前医学生用のオンライン臨床教育評価システム（CC-EPOC）の使用について

当院は、初期研修医の育成と医学生の臨床実習を行っている臨床研修病院・臨床実習教育病院です。

別途定めた臨床研修理念のもと、将来専門とする分野に関わらず、幅広い疾患・病態に対応できる医師・医学生の育成に取り組んでいます。

研修医は指導医の下で病棟・外来等にて受持医として診療にあたりますが、診療の安全と質には十分な配慮を行っており、患者さんの同意及び指導医の責任の上、十分な指導・監督のもとで診療を行っております。

医学生の臨床実習では、医学生が臨床実習を行うに足る能力があるかないかということ、実習が開始される前に、知識・技能試験を含む全国統一の共用試験ならびに大学内独自の試験を用いて総合的に判定されます。これらの試験に合格した医学生のみが臨床実習に参加します。また、指導医の立ち会いのもと、一部の侵襲的な医療行為についても行います。医学生は指導医の下で病棟・外来等にて実習にあたりますが、診療の安全と質には十分な配慮を行っており、患者さんの同意及び指導医の責任の上、十分な指導・監督のもとで実習を行っております。

研修医の臨床研修・医学生の臨床実習では、研修医・医学生が診療した患者さんの医療情報が、東京大学内に設置されている大学病院医療情報ネットワークセンター（UMINセンター）に個人情報を取り除いた形で送られます。この医療情報の移送・管理にはオンライン臨床教育評価システム（EPOC2 と CC-EPOC）が使用されます。これらのシステムは厚生労働省・文部科学省の支援の下、国立大学病院長会議が開発した、医師臨床研修指導ガイドラインに準拠したオンラインシステムです。全国の多くの臨床研修機関で使用され、医学生・研修医・指導医・メディカルスタッフ（看護師等）が、研修医ならびに医学生の評価のために使用するもので、高度なセキュリティにより守られています。

EPOC2 と CC-EPOC によって集められた医療情報は、臨床研修プログラムや医師臨床研修指導ガイドラインおよび臨床実習ガイドライン、医学教育コアカリキュラムの策定・改善などを含む臨床教育等に使用されます。さらに集積された医療情報は医師・医学生の研修・教育などに関する研究に二次的に利用されることも考えられています。

患者皆さんの医療情報を集積し、医師の研修・教育のために使用すること、及び、将来的に二次利用して研究に用いることに関して、ご質問・ご意見がある方は以下に記載されているこの研究の担当までお知らせください。

当院担当 総務課